

PDRシリーズ Bluetooth～シリアル(RS-232C)通信
Android端末用アプリケーション
取扱説明書

千本電機 株式会社

Rev.1.1

【はじめに】

本取扱説明書は、お手持ちのスマートフォン(Android端末)と、千本電機製 測深機、PDRシリーズ (Bluetooth対応版)を、シリアル通信で結ぶAndroid用アプリの取扱説明書です。

※本書は、Samsung社製 Galaxy Note (Android Ver.4.1.2)で解説していますが、他のAndroid端末でも同様です。

【ダウンロードとインストール】

※ダウンロードの前に、端末のセキュリティ設定で、提供元不明のアプリを許可して下さい。

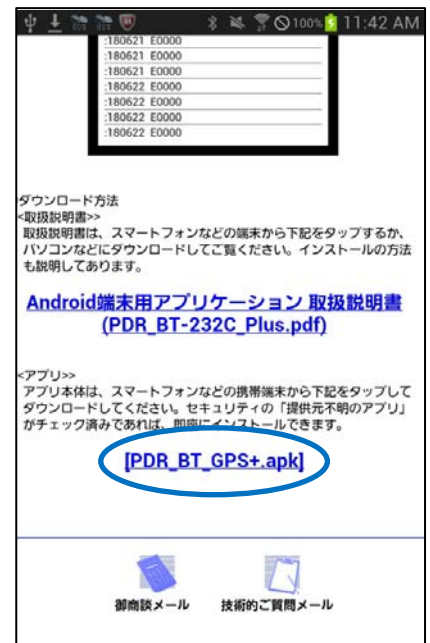
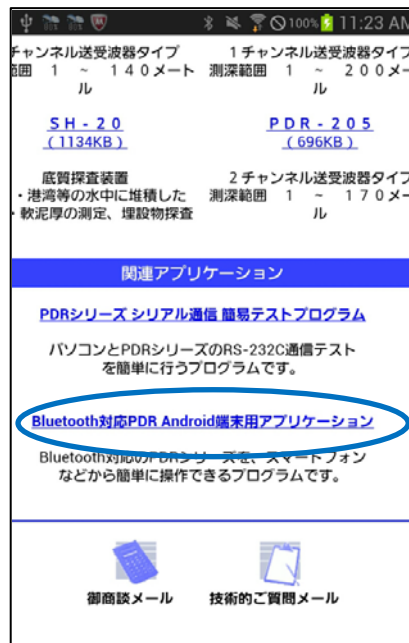
[設定]→[一般]→[セキュリティ]→提供元不明のアプリにチェック



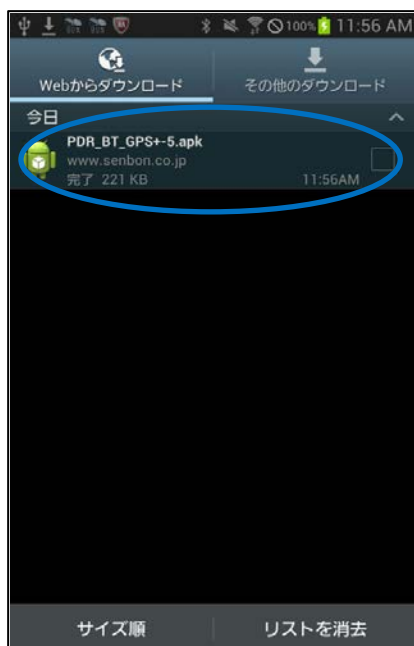
千本電機ホームページ(<http://www.senbon.co.jp/>)の取扱説明書のページから、関連アプリケーションのページへお進みいただくとダウンロードできます。

千本電機ホームページ→「取扱説明書」→「関連アプリケーション」
→「Bluetooth対応PDR Android端末用アプリケーション」

「Android端末用 RS-232C 通信アプリ」のページにある『PDR_BT_GPS+.apk』をタップするとダウンロードが始まります。



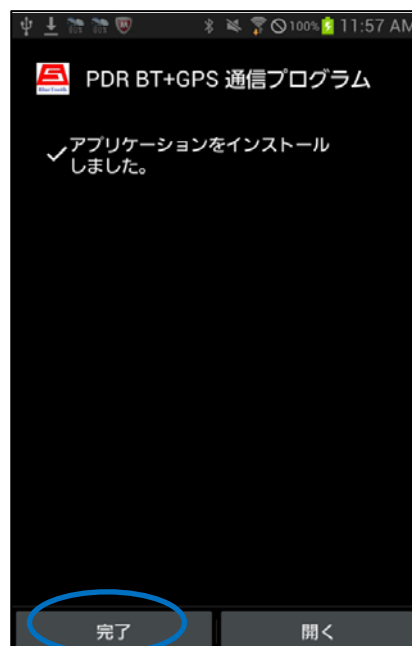
ダウンロードから、本アプリ(PDR_BT_GPS+.apk)をタップすると、インストールを開始します。
アプリ名は『PDR BT+GPS 通信プログラム』となります。お好みによりホームに置くなどしてご使用下さい。



PDR_BT_GPS+.apk をタップ



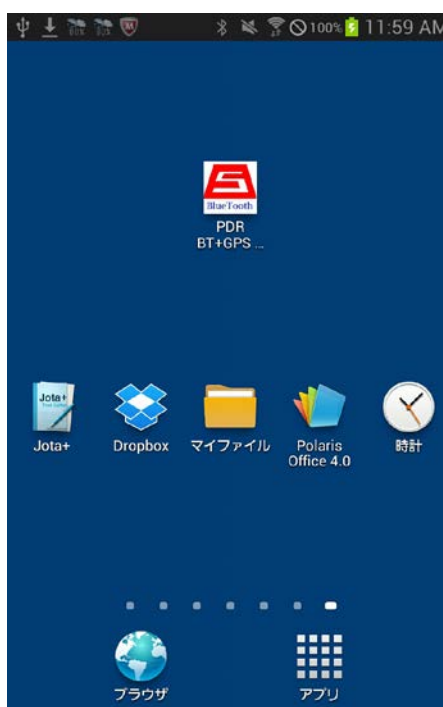
パッケージインストーラを使用




完了をタップ



インストールが完了し、
アイコンが表示されました。



お好みにより、ホームに
追加してご使用下さい。

アイコン  をタップすると、アプリが起動します。

本アプリは、シリアル通信データ(測深デジタル値)の保存機能を有しているので、
ファイル管理アプリと、テキストエディタをご用意いただくことをお奨めいたします。

【ご使用方法】

1) 測深機 (PDR) の準備

本アプリをご使用になる前に、Bluetooth対応のPDRシリーズをご用意ください。

Bluetooth対応のPDRシリーズでBluetoothをご使用になるには、

- ① 測深機 (PDR) の電源を入れ、メインパネルのFUNCTボタンを押して、下記の画面を表示します。
- ② SELECTボタンで項目を移行し、BT=ON/OFF設定を選択します。
- ③ 選択後、UPボタンまたはDOWNボタンで、“BT=ON”に設定を変更します。

PDRのシリアル通信設定画面

```
BAUDRATE=9600bps
CTS, DSR=ON BT=ON
```

BT=“ON” でBluetoothがご使用になれます。
BT=“OFF” で従来のシリアル通信(有線)がご使用になれます。

★上記設定を行うだけでBluetooth機能がご使用になれます。

★PDRのBluetoothをご使用になる場合、BAUDRATEは、必ず9600bpsでお使いください。

2) PDRとのペアリング操作

PDRに限らず、Bluetoothを用いて機器間で通信を行うには、ペアリングという操作が必要です。

★ この操作は、PDRと最初に通信を行うときに1回実行すれば、2回目以降は必要ありません。

この操作は、アプリ画面からも可能ですが、ここでは端末の設定画面から行う方法で説明します。

- ① 端末の設定画面のネットワーク接続から、Bluetoothを選択し、表示された接続可能デバイスから、『PDR-BT001』を選択します。

“BT001”の部分は、お手持ちの機種(PDR測深機)により変わりますので読み替えてください。



Bluetoothをタップ



PDR-BT001をタップ

(コロン(:)で区切られた数字は機器により変わります。)
初回接続時はデバイス名が“null”となっている場合があります

- ② ペアリングの要求画面が表示されるので、PINコード(“1234”または“0000”)を入力し、『OK』をタップします。(PDR用Bluetooth機器では通常、“1234”です。)



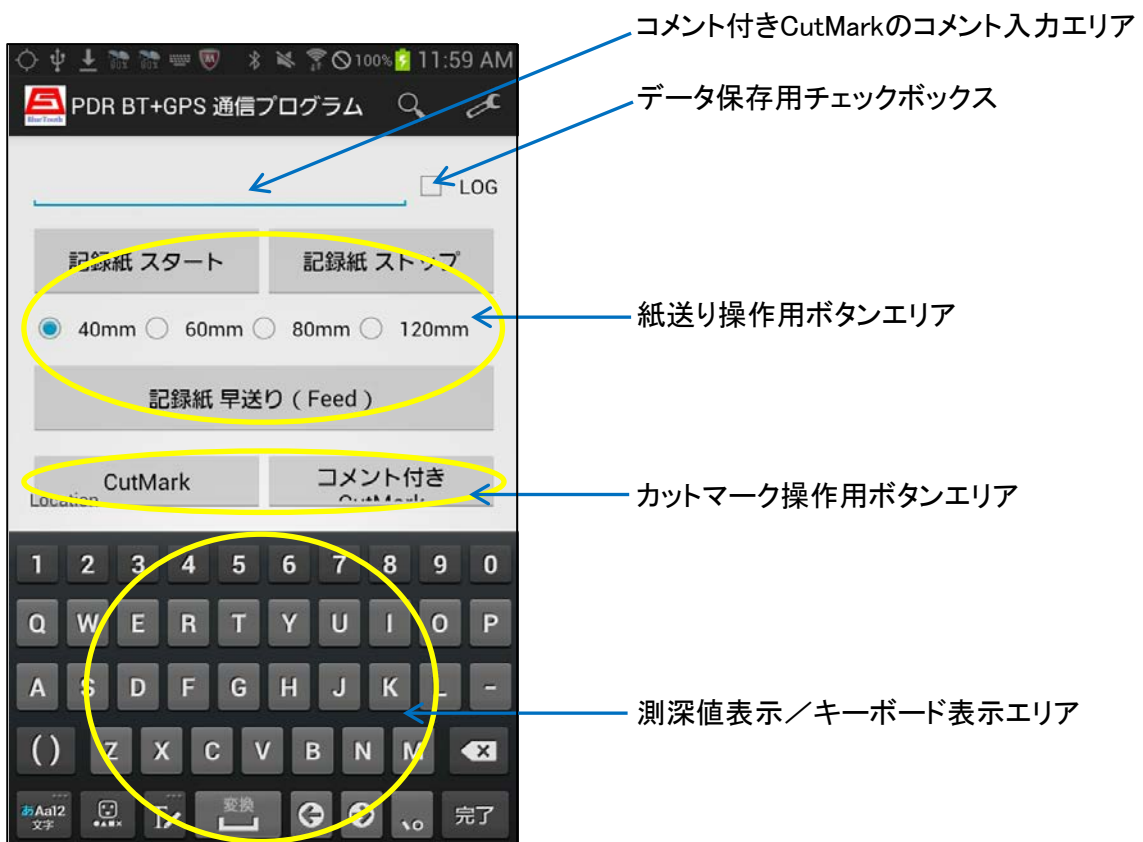
※相手側デバイス(PDR)にPINコードを入力する必要はありません。

3) アプリの起動

アプリ一覧やHOME画面からアイコン



をタップすると、アプリが起動します。



起動したアプリ画面

4) PDRとの接続

- ① AntionBarの虫眼鏡アイコン (Scan&Connect) とスパナアイコン (discoverable) が表示されるので、虫眼鏡 (Scan&Connect) をタップします。
※ご使用になる端末によって、表示方法が若干異なります。
- ② 接続可能なデバイス一覧が表示されるので、『PDR-BT001』をタップします。



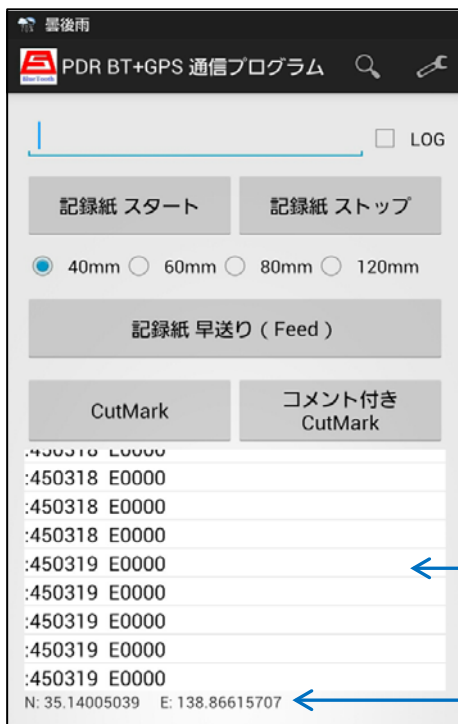
『Scan&Connect』をタップ



『PDR-BT001』をタップ

(コロン(:)で区切られた数字は機器により変わります。)

- ③ 接続の完了と測深値 (デジタル値) の表示
PDRとの接続が完了すると、測深値表示エリアにデジタル値が表示されます。



接続に成功すると、
測深値 (デジタル値) が表示されます。

Android端末が取得した位置情報
(北緯、東経) が表示されます。

5) 紙送り制御とカットマークのボタン操作
画面上の各ボタンの動作は、下記の通りです。

① 記録紙 スタート

記録紙の紙送りを開始します。すでに開始している場合は何もしません。
(紙送りスピードを変更した場合は、変更した紙送りスピードに切り替わります。)

② 記録紙 ストップ

記録紙の紙送りを停止します。すでに停止している場合は何もしません。

③ 紙送りスピード選択ボタン

紙送りの速度を 40mm/min, 60mm/min, 80mm/min, 120mm/min の中から選択します。
デフォルトは、40mm/min です。

紙送りスピードを変えるには、[紙送りスピード選択] → [記録紙 スタート] の順で操作します。
紙送り中、紙送り停止中に関係なくスピードの変更が可能です。

例：紙送りスピードを 40mm/min から 80mm/min に変える

40mm/min のラジオボタンが選択されている状態で、80mm/min のラジオボタンをタップ
(80mm/min のラジオボタンが選択されます。)し、続けて[記録紙 スタート]をタップします。

④ 記録紙 早送り (Feed)

記録紙を早送ります。紙送り中、紙送り停止中に関係なく記録紙の早送りが可能です。
早送りを止めるには、[記録紙 ストップ]をタップします。

⑤ CutMark

カットマークを記録紙に印字します。

⑥ コメント付きCutMark

画面上部 ([記録紙 スタート]の上部) にあるコメント入力エリアに入力した文字列を
カットマークと共に記録紙に印字します。(印字できるのは、半角大文字英字と数字です。)

⑦ LOG チェックボックス

測深値表示エリアに表示されている測深値(デジタル値)をファイルに保存するときに使用します。チェックボックスをタップして印(レ点)を点けると、ファイル保存を開始します。再度チェックボックスにタップして印(レ点)を解除すると、ファイル保存が終了します。

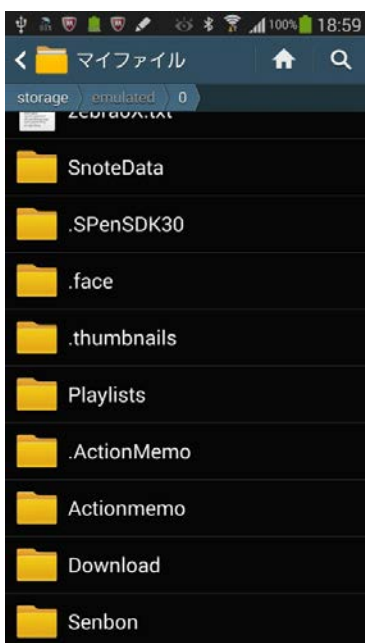
ファイルは、お使いの端末のデバイスストレージの直下の¥Senbon フォルダに格納されます。(フォルダは自動的に作成されます。)

ファイル名は、チェックボックスをタップしてファイル保存を開始した日付時刻から自動的に生成されます。ファイル名の形式は“PDR_yyyymmddHHmmss.log”となります。

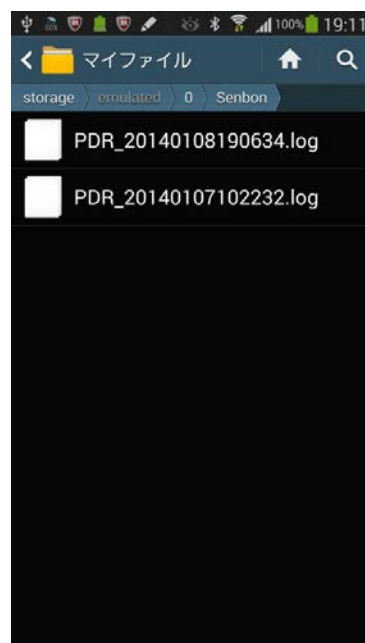
例：2014年1月12日の10時24分32秒にチェックボックスをタップし、ファイル保存を開始した場合、“PDR_20140112102432.log”というファイル名のファイルが生成され、測深値が保存されます。

ファイル保存を開始すると、チェックボックスをタップしてファイル保存を終了するか、アプリを終了するまで、測深値の保存が行われます。

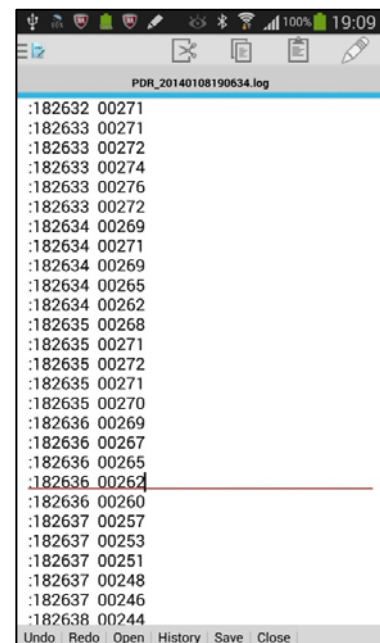
※保存したファイルは、Jota+ などのテキストエディタで閲覧／編集できます。



Senbonフォルダが自動的に生成されます。



保存したファイル



Jota+での表示例

6) アプリの終了

端末の「戻るキー」を押して(またはタップして)、アプリを終了してください。

※ ご使用になる端末によって、戻るキーの表示方法は異なります。

2014年 01月 10日 初版 Rev.1.0
2014年 07月 07日 Rev.1.1

本説明書は、予告なく変更する場合があります。

ご不明な点や、疑問点など、ございましたら弊社まで、お気軽にご連絡ください。

【ご連絡先】

〒410-0011

静岡県 沼津市 岡宮 1299-3

千本電機 株式会社

TEL : 055-923-6660

FAX : 055-923-2880